

高等学校魅力化推進事業について

岡山県教育委員会では、県立高校の魅力化を推進するため、令和元年度から「高等学校魅力化推進事業」を実施し、次の高校において研究等を行っています。

○リーディングモデル（LM） 2校

時代をリードする教育内容等を研究し、新学科等の設置を目指す。

岡山朝日高校（探究的な学びによる、新たな社会を牽引し世界の未来を拓くリーダーの育成）

岡山工業高校（STEAM教育による、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成）

※括弧内は研究テーマ

○リージョナルモデル（RM） 10校

1 学年 3 学級規模の高校が地域との連携の在り方等を研究し、教育の質を確保した魅力づくりを図る。（和気閑谷高校については、国の事業を活用して取り組む。）

【第1期】（令和元年度～）

笠岡工業高校（「笠工テクノ工房」を軸とした地域に貢献する「人財」の育成）

笠岡商業高校（地域資源を活かした学びの実践による人材の育成）

高梁城南高校（「城南カフェ」を中心とした地域創生人材の育成）

鴨方高校（産官学連携による地域貢献及び人材の育成）

和気閑谷高校（「恕」の精神を持って地域と協働する探究人の包括的育成）

矢掛高校（町と協働した地域連携組織による人材の育成）

【第2期】（令和2年度～）

邑久高校（地域連携を通じた学校の魅力づくり）

林野高校（地域を理解し、地域に貢献する人材の、地域と連携した育成）

【第3期】（令和3年度～）

岡山御津高校（地域連携を通じた学校の魅力づくり）

勝間田高校（地域と共に高め合う総合学科の地域連携のあり方）

※括弧内は研究テーマ